

機電技術者意見交換会報告書

(第 25 回)

実施日：2025 年 10 月 9 日（木）～ 10 日（金）

2025 年 11 月

一般社団法人 日本建設機械施工協会
建設業部会 機電技術者交流企画委員会

2025 年度 建設業部会 機電技術者交流企画委員会名簿

役員	氏名	会社名	備考
委員長	篠宮政幸	佐藤工業(株)	
副主査	落合博幸	三井住友建設(株)	
委員	末田修嗣	大林道路(株)	
委員	田浦義真	(株)奥村組	
委員	松澤 享	五洋建設(株)	
委員	山田竜太郎	清水建設(株)	
委員	佐野和幸	大成建設(株)	
委員	俵 芳徳	大豊建設(株)	
委員	佐藤晃一	(株)竹中土木	
委員	谷崎英典	鉄建建設(株)	
委員	本多 茂	(株)フジタ	
委員	橋本信也	前田道路(株)	
事務局	松枝浩太郎	(一社)日本建設機械施工協会	
	松本寛子		

一般社団法人 日本建設機械施工協会 建設業部会

第 25 回 機電技術者意見交換会

目 次

1. 第 25 回 機電技術者意見交換会 報告	1
2. グループ討議結果	7
3. シャッフル討議メモ	19
4. アンケート集計結果	25
5. 資 料	
(1) 意見交換会実施要領およびスケジュール	37
(2) 参加者名簿	40
(3) 実施状況写真	42
(4) 新聞掲載記事	47

1. 第 25 回 機電技術者意見交換会報告

(1) 背景

機電技術者意見交換会は平成 9 年から実施されており、今回で 25 回目となる。これまで、参加者からは「刺激を受けた」「他社の人間の意見が聞けて有意義であった」「モチベーションアップにつながった」「横のつながりが出来た」「同じ機電職として本音で話げできた」等、意見交換会に対して好意的な発言が多く述べられてきたことから、それらを踏まえるとともに時流に沿った討議テーマを選定し継続してきた。

第 16 回（平成 24 年）からは、建設業部会の中に「機電技術者交流企画WG」を設置し、開催意義を再検討するとともに、機電技術者のさらなる育成交流に資する活動として、討議テーマ、グループ編成、講演内容および PR 活動等の検討を行っている。

第 19 回からは、「より多くの参加者との意見交換の要望」に対応して、グループ討議の班編成をシャッフルして討議を行う方式を採用している。好評であることから今年度も班編成のシャッフル回数については継続して実施した。

2020 年から 2023 年までは新型コロナウイルスの影響を鑑み、web 講演会を実施してきて昨年 5 年ぶりの開催ができ、今年も引き続き実施することができた。場所も昨年に引き続き機械振興会館にて実施した。

第 25 回目の開催にあたっては、第 24 回参加者のアンケート結果を下に、

- ① 時流に沿ったより有意義な討議テーマの選定（前回からの継続テーマ）
- ② 講演内容
- ③ 討議成果発表方法の工夫
- ④ 自己プレゼン方法の改善
- ⑤ アンケート集計方法
- ⑥ 参加会社の拡大
- ⑦ 機電技術者の PR 方法

等について重点的に討議を重ね、実施要領を決定した。また、4 年間開催してなかったことで参加できていない若手社員も多くいるため機電技術者の参加を促すために参加者募集に関しては、昨年と同様に各社 2 名を上限として引き続き建設会社協会会員のグループ会社の社員も含めることとした。さらに、継続学習制度（CPDS）の学習プログラムに登録し、単位取得の対象講習会とすることで参加しやすい環境を整えた。

(2) 副幹事長挨拶 : 建設業部会 副幹事長 篠宮政幸

皆さん、お疲れ様です。

第 25 回機電技術者意見交換会に出席をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響でしばらく休止して講演会等実施していましたが、昨年、5 年ぶりに開催となりました。

コロナ前までは代々木のオリンピックセンターにて 1 泊 2 日で実施していましたが昨年からここ機械振興会館に場所を移し実施しています。

私たちの建設業は多くの課題に直面しています。

昨今、労働力不足、熟練者不足と言われていますが我々建設業職員も人員不足と言われてます。こうした情勢を背景として今回は「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」をテーマとして 2 日間に渡り討議をしていただきます。

皆さんの活発な意見、交流を期待して開会の挨拶とさせていただきます。

(3) グループ討議

『建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～』というテーマのもとに、参加者 38 名を 6 班（工種別：土木全般系、道路・機械管理系、シールド系、トンネル系、建築・橋梁系、海洋土木・橋梁系）にグループ分けし、討議を実施した。

討議は上記の工種別グループを基本として行い、成果発表は班ごとに行う方法とした。なお、班編成メンバーを入れ替えるシャッフル方式が好評であったことから、2 日目 1.5 時間のシャッフル時間を取り入れた。

シャッフル内容の討議テーマは『生成 AI の活用事例』として、平均年齢が各班同一となるような構成とした。いずれも工種が重ならないように配慮した。

(4) 討議成果発表

2 日目の午後に、グループ討議の成果を各班の代表から発表してもらった。また、参加者全員が発言するという機電技術者交流企画 WG の基本方針に基づき、参加者一人ひとりに討議内容および意見交換会へ参加した感想等について発表してもらう時間を設けた。

(5) 講評者意見

討議成果発表に対して、各社の上司である管理職の方々から全体を通した講評を頂いたので、抜粋を以下に示す。

・皆さんは 10 年前後、今まで働いてきていますが、辞めてないということは仕事が楽しいから継続できていると思います。その皆さんの姿勢をそのまま学生に伝えてもらえれば伝わるといいますのでリクルート活動もそのような感じで取り組んでください。

シャッフルテーマの「生成 AI の活用事例」については、機電職員は対応する力が大きいと思っています。昔は機電職員は縁の下のカ持ちなどと言われていましたが、逆に皆さんがリーダーとなって取り組んでください。

・皆さん、しっかりまとめていると思います。学生に魅力を伝えるのも大事ですが、まずは自分が楽しく仕事をするのが大事です。いきいきしている先輩がいれば入ってみようと思ってもらえると思います。頑張ってください。

・過去に発表したテーマについて現在、実現していることが多々あります。今回、皆さんが議論していただいた内容について 10 年、20 年すれば当たり前の時代になるように皆さん、頑張ってください。

(6) 講演

今回は、60分の枠で2講演を頂いた。

演題：『フィジカル AI アシスタントの社会実装（へ）』

講師：(株)ポケットクエリーズ 代表取締役：佐々木 宣彦 様

昨今、AI や DX 化などと言われる中、ポケットクエリーズの佐々木様より、IT 技術で課題を解決できるいろいろな事象の講演をしていただいた。

災害事象を可視化するシステムを用いて社内の防災訓練を実施したこともある。

自転車の車輪にセンサーを組み込んで、競輪場の 3D 空間に 2 台の自転車を入れて競争させるなどのシステムを作っている。地面すれすれに 3D ライダーを用いて足の位置を検出し、空間 VR でインベーダーゲームを作った。

AR、VR について 2018 年にテレビで紹介してもらったときに、東京電力で変電所を点検するにあたり、1 名は点検し、もう 1 人は遠隔でリアルタイムで共有し情報共有するシステムを開発している。

工事現場では iPad を用いて AR 表示をして機材を配置するレイアウトを検討することによく用いられている。

中国からいろんな種類の 4 足歩行ロボットを開発していて、AI を組み込んでいろいろな動きができるようになってきているので、それを建設現場に用いることができるようになっていけば良いと思っている。

非常に興味深い内容の講演であり、参加者から多数の質問が寄せられた。

演題：『スキルを磨け！』

講師：大成建設(株) 建築本部建築機械部 企画開発室：久松 栄一 様

大成建設の久松様より機電職員として在職 38 年勤務してきた今までの業務実績について講演があった。

今までの現場でのご活躍やトラブル対応について講演タイトルのとおり「スキルを磨け！」の考えに基づき自分で考えて自分で行動するということができていた。

今は、すぐに検索して調べることができるが昔はそういうものはなかったため、頭の中にいれていたため現場で対応することができた。

資格取得についても建築、土木両方で取得し現場で活躍されていた。

今回、集まっていた意見交換会の若手職員にとって非常に興味を引く内容であった。

(7) 閉会の挨拶：建設業部会 部会長 坂下 誠

・2 日間、お疲れ様でした。今回のテーマについて意見交換していただきましたが、いろんな視点から議論していただいたと思います。建設業界全体の人材不足の中で機電職員の確保も課題にあがっています。皆さんで議論してもらった内容を今後に活かして欲しいと思います。

昨今、施工機械の遠隔化、自動化、自律化、DX 等、新技術がたくさん世の中にあります。機電職員も同様に対応していかなければいけません。今後、10 年 20 年かかるとは思いますが皆さんであれば取り組んでいけるとは思います。非常に期待しています。

今回 38 名参加していただきましたが、会社の規模も違いますし工種の違いもあります。当然、個人個人の経験も違いますが、皆さん機電技術者として集まって意見交換してもらいましたが、共感できる部分も多かったと思います。いろんな施工法ややり方など参考になった部分もあったと思います。今後の仕事に役立てていってください。

(8) まとめ

1) アンケート分析結果

① テーマ、進め方、発表方法、交流について

【討議テーマ】 「建設業のイメージアップ戦略 ～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」

テーマについては「適当・良かった：95%」「まあまあであった：5%」「不満・改善を要す：0%」という回答であり、テーマとしては話しづらい内容であるにも関わらず評価としては肯定的に捉えられている。

次回討議したいテーマとして「建設機械の自動化」「ICT 施工」等のキーワードが多く、若手として実際に直面している問題を討議テーマとしてもらいたい、解決策を教えてもらいたいと言った意識が働いているものと思われる。具体的な討議テーマは発表に偏りが発生するのではないかとの意見もあり、討議に幅を持たせる内容としたが、複数のテーマの選択等の手法も検討していく必要がある。

進め方については「適当・良かった：76%」「まあまあであった：21%」「不満・改善を要す：3%」という回答であり、概ね、良好だったと言える。

シャッフル討論について「現行より時間を延長すべき：16%」「現行時間が妥当である：74%」「討議内容が浅くなるので、現行より時間を短縮すべき：10%」という回答であり、「いろいろな方々と話ができて非常に有意義であった」意見が多く好評であり、今後も継続していくべきと考えるが、「時間が長すぎる」等の意見もあり、シャッフルの発表方法や時間については今年度も検討を行ったが、来年はシャッフル討論の発表も視野に検討してもいいかもしれない。

② 参加者、場所、期間について

参加者 : 38名

場所 : 機械振興会館

期間 : 10月9日(木)～10日(金)

参加者に関しては「適当・良かった：95%」「まあまあであった：5%」「不満・改善を要す：0%」という回答結果であった。

場所に関しては「適当・良かった：89%」「まあまあであった：11%」「不満・改善を要す：0%」という回答結果であり、前回からオリンピックセンターから機械振興会館に変更したことにより、近くに宿泊する者、自宅に帰宅する者と自由度が広がったのも好評の要因と言える。会場とのアクセスおよび経費的なことを考慮すると、現行方式を継続すべきと考える。

期間については「内容充実を図り3日間とすべき：16%」「現行のまま2日間が適当：76%」「1日が適当：8%」、また、集合時間について「9時集合が望ましい：16%」「10:30集合：79%」「13:00集合が望ましい：5%」であり、期間、時刻とも概ね現行通りで良いという回答であった。

曜日に関しては「月・火が望ましい：0%」に対し「木・金が望ましい：84%」と週末を希望する意見が圧倒的に多い状況である。施設予約の関係から「木・金」を第一希望としても取得しにくい面はあるものの、可能な限り週末開催となるように調整を図りたい。

遠方現場からの参加者の宿泊について「現行通り該当者での各手配で良い：66%」と7割を占めるが、「協会での一括手配希望：18%」「全員宿泊必須の工程復活希望：16%」と2割弱の意見があった。昨今のインバウンド需要から宿泊施設の大人数の予約が困難なことと宿泊金額の高騰から現行通りの宿泊で良いのではと考える。

開催時期については、10月という回答がほとんどであった。概ね「事前調整でき支障はなかった」という意見ではあるが、「決算期を外してほしい」という意見もあることから、極力通知時期を早める方策を検討したい。例えば開催日時は決定しているため、5月～7月辺りに各社への人選依頼を先行して行うなどである。

③ 参加した感想

感想欄の回答からは「有意義であった：92%」「まあまあであった：8%」「不満・改善を要す：0%」という回答を得たことから意見交換会は成功とした。また、「会で得たことを社内で展開するか」という問いに対して、「展開したい」との回答は97%であった。参加者により程度の差はあるが、良い刺激を受けたと言える。業務への取り組み意識は「大いに変化した：58%」「実感はないが、どこか変わった：42%」「まったく変わらない：0%」であり、討議のテーマ、講演会の内容等継続して注視していく必要がある。

主な意見として「他社、同年代の機電職と交流ができ有意義であった」「異なる分野の技術者と意見交換できて刺激を受けた」「参考になった」「よい機会であった」等のポジティブな意見が多数であり、今後も意見交換会を継続する必要があることを再認識した。

④ 講演について

(1) 演 題 : 『フィジカルAI アシスタントの社会実装』

講 師 : (株)ポケット・クエリーズ 代表取締役 佐々木 宣彦 様

(2) 演 題 : 『スキルを磨け!』

講 師 : 大成建設(株) 建築本部建築機械部 企画開発室 久松 栄一 様

講演に関しては「有意義であった：95%」「まあまあであった：5%」「不満・改善を要す：0%」という回答であり、概ね、適当であったと考えられるが、「1講演で十分であった：24%」という意見もあった。これは講演よりも討論テーマのほうに時間を使いたいということが考えられる。

時間的にも「適当な時間であった」という方が92%であり、今後も1時間弱の講演時間を確保して進めたい。ただ、1講演を望む参加者が24%いることから(2講演以上希望：76%)、可能な範囲で検討を行う必要があると思われる。

最新技術の紹介や他分野の情報等を望む声が多いことから、今後も機電技術者が興味を持つ話題を提供したい。

⑤ 今回の意見交換会から得たもの

今回の経験をどのように活用して行くかという問いに対しては人脈活用、情報交換、個々のレベルアップについて概ね良好な意見が多く見受けられた。自由意見として「今後も交流していきたい」「他社の現状を知る良い機会であった」「今回話をした内容を自社に持ち帰り水平展開したい」等があり、各人それぞれが刺激を受け、良い経験となったと言える。

⑥ その他の意見

その他の意見として「同業他社の機電担当者と繋がりが持てて有意義であった」「普段聞くことのできない他社の状況や課題を共有でき不安が解消された」等の意見があり、前向きな意見が多くみられた。

それ以外で「発表資料作成時、全員で確認できるモニターが欲しい」「自己紹介の時間を2分ぐらいに短くしてそのほかは懇親会のときに話しては」といった意見があったため、その辺は来年以降、検討していきたい。

今回、参加者の年齢に関する意見は多少見受けられたが、各社の数少ない機電技術者の参加でもあり、現実として年代を限定することは困難と思われるとともに、幅広い意見交換には各年代が混ざっていたほうが良いと感じる。

「懇親会で国交省の方と情報交換ができた」等の意見もあったが、総体的に日ごろ意見を聞く、言う機会の少ない機電技術者同士に自分なりの意見を発信できる場を提供できたと言える。

⑦ 10年後の自分へのメッセージ

将来の建設業を牽引する機電技術者を目指す決意が記されており、頼もしい意見が多い。彼らの目標を現実のものとする手助けができるよう、今後も交流育成の場づくりを目指していく必要がある。

2) 今年度の成果

意見交換会へ参加しての感想は「有意義であった:92%」「まあまあであった:8%」のアンケート結果から、開催内容について大きな問題は無く、意見交換会の主目的である「機電技術者の交流・育成に資する場づくり」は達成できていると考えられる。

参加者各人の感想も「有意義であった」「刺激を受けた」等の意見が多数であり、特にシャッフルについては「同業他社の機電職の意見が聞けた」「違う職種 of 機電職と交流でき刺激を受けた」等の高評価の意見が多く、今後も継続するとともに、時間配分についても検討を加えていきたい。

3) 次年度への課題

「意見交換会に参加して自分の業務への取組み意識は変化したか」という問いに対して「大いに变化した」という回答は58%との結果であり、昨年度の36%から大幅にUPした。参加者の討論が活発に行われたといえる。意見交換会の主な目的である交流する、情報を得る、悩みを語るといった点については達成されていると考えられる。内容の見直しは検討する必要があるが、大きく変革せずに小規模変化を取り入れ参加者の反応を見ていくことも必要と思われる。

討議テーマに関して「適当・良かった:95%」という意見が多かったのは機電職の人材確保の問題という直近の課題がテーマだったことから討論しやすかったのではないかと推測する。テーマ内容の検討に加え、複数テーマの設定等も考慮していきたい。

成果発表の方法については、パワーポイントの使用を継続して行ったが、大きな問題とはなっていない。パワーポイント方式による発表を継続していきたい。ひとつのパソコンで作成してため全員の確認用に各机にモニターがあったほうが確認しやすいといった意見があったため来年以降、検討していきたい。

参加者に関して、今年度は土木系、建築系、道路系、海洋系と比較的バランス良く参加できていたと感じる。引き続き参加案内を極力前倒して各社の人選に寄与していきたい。

開催の会場については、前回から青少年オリンピックセンターから機械振興会館に変更したがアクセスも良く、参加者からも討議および発表会場への苦情等はないが、協会での宿泊一括手配希望、全員宿泊希望等の少数意見もあるため宿泊については検討の余地はあるといえる。また、大きな会議室で仕切りもない状態での討論であったが、非常に活発な意見交換が出来ているように見受けられたため、会場も今回と同様で良いのではないかと推察する。

前回、講演と討論会場を別々にしていたが、今回は同じ会場で実施したためスムーズに実施できていたように思う。

講演に関して、1講演を希望する参加者が24%である。これは討論の時間が足りなかったという意見もあったことが要因と考えられる。講演内容に問題は見受けられず、最新技術の紹介、動向など機電技術者の興味を掻き立てる内容が望ましいと言える。

新聞掲載は、業界紙2社に取材および掲載してもらった。今後も取材依頼は継続するとともに、どの時点で取材してもらったら記事にしやすいかなどを考慮して、協会の活動をアピールしていきたい。

2. グループ討議結果

1 班- 1

第25回機電技術者意見交換会

テーマ:
「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」

成果発表
【第1班】

令和7年10月9日(木)～10日(金)
場所: 機械振興会館
主催: (一社)日本建設機械施工協会 建設業部会

1

目次

1. 採用における建設業（機電系）の背景
2. 学生目線の実情
3. 採用活動における課題
4. 魅力を伝えるためのアイデア
5. 1班が考える施策

2

第1班 討議メンバー

No	氏名	所属会社	所属部署
1	小野 裕	東島建設株	メカトロニクス・ソリューション部
2	早川 真斗	鉄路建設株	東京支店工事第4グループ 東日本橋製作事務所
3	中島 真真	神フジタ	土木本部 土木EC 機械部
4	井上 高樹	神大林組	本社ロボティクス生産本部 企画管理経営課
5	松尾 政夫	東豊建設工業株	土木本部 機電部 機械EC
6	加賀山 智	東島建設株	定陸支店 池内ダム洪水処理場 設計/工事事務所
7	宮崎 謙	神崎地産	東京本店 東京東砂山/吹ヶ丘

3

建設業（機電系）の背景

- ・ 昨今の工事は**大規模化**、**高層化**、さらには**工事が複雑化**している
- ・ デジタル技術や作業の機械化、自動化などが導入されている建設業で**機電関係の人員拡大**が求められている
- ・ こういった背景から、機電系分野の**人材確保は必須不可欠**である。
新入社員を安定的に確保していくことが業界を育てるの課題である

したがって、機電系・電気系・情報系の学生に向けた建設業の魅力を伝えることが必要である

しかし、大企業、新卒や就職希望、初任や定額給付など、多様なキャリアパスが
あることを伝えるも、より専門性の高い職業観、特にメーカーへ人材が流れる傾向が見られる

以降では、現在の学生目線に立った、実情について報告します！

4

学生目線の実情

学生目線が**二極化**している

★**ワークライフバランス**を求める
転職が頻だ！趣味が優先させたい

★**安定性を求める**
転職はよい、業界内に仕事が続くならない

『ゼネコンを
知っている学生目線』

◎**業界が興味がない**

自分はやりたいことのみ探す
(業界など)

都合で働きたい
(コンサル、ITに流れる)

◎**学生にとって売り手市場**

『興味がある学生』

業界/インフレットが欲しい
(データより紙が欲しい)

業界と設備の両方から
両立がすると
就業設備を両方
(都合で働ける)

『ゼネコンに興味がない』

機電がゼネコンを働ける
ということを知らない

建設業の3Rのワードを
知らない

建設+全て作業員た
てと悪い印象を持っている

5

実現する際の課題

★**魅力が正しく伝わっていない**
機電の重要性、ゼネコン自体の魅力

★**実務との乖離**
開発を前面に押し出すと開発のみができると思う学生がいる
(現場施工を行いたくない、聞いていた話と違う)

★**ゼネコン側のアプローチが下手**
受け身(来てくれた子のみ)にアプローチ
新規開拓されていない

6

1 班-2

魅力を伝えるためのアイデア

- ◆ 建設業の魅力を伝える学生の**ターゲットを絞り込む**

【ターゲット①】

- ◆ **“安定志向”**の学生（ワーク・ライフバランスよりは給料優先）に絞る
- ◆ **インフラ業界や電力会社、機械メーカー**に興味を持っている学生を引き込めるような策を打つ

【ターゲット②】

- ◆ 「機械？電気？興味はあるけど…」
「建設業って何をしているかわからない」
「行きたい業界が定まっていない学生」をターゲットにする

7

1 班が考える施策

狭く深い”充実した”アプローチ

① 学生のターゲットを絞ってアプローチをする！

…「機械が好きだ」「安定した生活を送りたい」
「インフラ系、電力系、機械メーカーが定まっていたらいい」（業界未定者）
入社を決めてもらう！

↑

広く浅い”不特定多数”への”アプローチ

② ターゲットを「理系全体」に広げてアプローチをする！
興味を持ってもらう！

8

①ターゲットを絞ったアプローチ

建設業の「高い給料」「無くない仕事」など良い待遇で遅れなく魅力を伝える

「重視が好き」

現場見学、インターン
大規模な建設現場を！
大きな建設現場を！
労働者自治会体験

「見る」「触れる」「感じる」
建設業の生の経験をターゲットに伝える

「安定した生活」

手厚い会社説明会
若手研修会を開催
リアルなお金や働き方を

「業界未定者」

手厚い会社説明会
会社説明の時に
まずゼネコン・建設業
元請けの職業についての
説明資料を
含みつつに設ける
都合で集める資料館
を見せる

まずは建設業・元請けについて
正しいイメージを持ってもらう

9

②ターゲットを「理系全体」へ広げる

リクルートのアプローチ分野が狭い現状がある！

② 建設分野へのリクルートイベントから
理系全体の他分野のイベントにも積極的に参加し
魅力を伝える！

➡ 説明会資料の中に、
「いつでも、誰でも、好きな画角で」
視聴できる現場カメラへアクセス出来る
“QRコード”リンクを配る！

建設業のリアルな状況をすみずみまで知ってもらい
魅力を感じてもらおう！

10

②ターゲットを「理系全体」へ広げる

QRコードから
現場カメラへアクセス！



➡ 興味を持ってくれた
学生から連絡を買う

↓

①のより深いアプローチへ繋げる！
現場見学、インターンシップなど…

11

ご清聴ありがとうございました！

2日間ありがとうございました！！

12

2 班 - 1

第25回機電技術者意見交換会

テーマ:
「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」

成果発表
【第2班】

令和7年10月9日(木)～10日(金)
場所: 機械振興会館
主催: (一社)日本建設機械施工協会 建設業部会

1

第2班 討議メンバー
道路関係班

No.	氏名	所属会社	所属部署
1	田中 隆博	機研PCC	社会連携部 機械関係グループ
2	大野 晃生	三井住友建設㈱	土木本部 機電部
3	大倉 賢	世紀東急工業㈱	機研-購買部 機研センター
4	前田 明良	世紀東急工業㈱	名古屋支店 名古屋営業所
5	林 亮太郎	大林建設㈱	機械部機研センター
6	土藤 優樹	東海道路㈱	技術開発本部機械部開発設計課

2

はじめに

機電系学生に入社してもらうために

- 建設業にも機電系の仕事がある
- 建設業のイメージ向上(魅力、働き方)
- 現場での機電系の重要性
- 機電学生の活躍の場

3

建設業にも機電系の仕事がある

学生に機電系の仕事を知ってもらう機会

- 会社説明会
- 学校の講義、授業
- 先輩からの勧め

教育機関との連携

建設業界に入る不安がある人も...

- 設計及び構造計算

学生時代に学んだ知識は役に立つ

・共同研究の強化
・OB, OC訪問 等

4

建設業のイメージ向上(魅力)

給与平均が高い!!

建設業の平均年収 **529万円**

全業種の平均年収 **457万円**

出典: <https://www.fhl.ac.jp/sum/kyosei/industry/industry/industry/industry/>

5

建設業のイメージ向上(魅力)

- 生活を支えている責任感
- 地図に残る仕事

高速道路等の重要インフラ

6

2班-2

建設業のイメージ向上(働き方)

- 自分で働き方を選べる



7

現場での機電系の重要性

- 現場では必ず機械が動いている
- 機械施工方法の提案
- 新技術の導入
- 技術介入時の活躍



8

一方...

- 3K(きつい・汚い・危険)の問題も実際問題としてあるが...

機械施工や工夫によって
作業負担を軽減

安全対策機器活用による
安全性の向上

9

さいごに

- 建設業も機電系の仕事は求められている
- 建設業に対して良いイメージを持ってもらう
- 現場の要は機電系だと知ってもらう
- 学生時代に勉強したことを生かせる

10

3班-1



1

第3班 討議メンバー

No.	氏名	所属会社	所属部署
1	野田 洋輔	株式会社住友建設 - 第	上野事業本部 機械器具メンテナンス推進グループ
2	中川 真由	株式会社住友建設	建設一課 10号室
3	水野 大輔	株式会社住友建設	建設一課 設備維持管理推進
4	宮田 悠介	株式会社住友建設	建設一課 電気設備維持管理
5	鈴木 真由美	株式会社住友建設	建設一課 設備維持管理推進
6	坂本 真	株式会社住友建設	建設一課 10号室
7	中川 真由	株式会社住友建設	建設一課 10号室

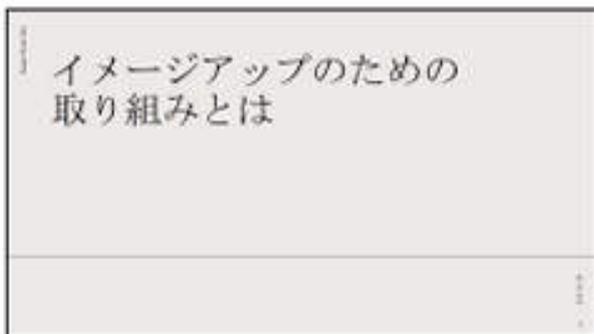
2



3



4

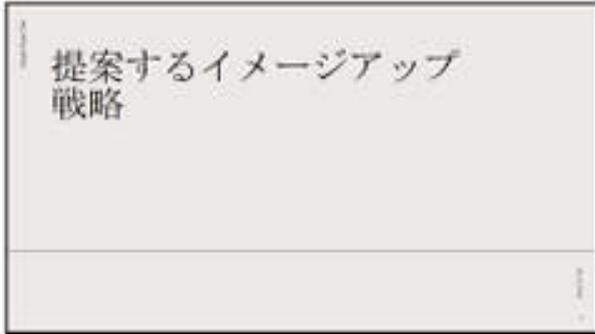


5



6

3 班-2



7



8

4班-1

第25回機電技術者意見交換会

テーマ：
「建設業のイメージアップ期間～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」

成果発表
【第4班】

令和7年10月9日（木）～10日（金）
場所：機械技術者会
主催：（一社）日本建設機械施工協会 建設機械部

1

第4班 討議メンバー

NO	氏名	所属会社	所属部署
1	今藤 基希	西松建設工業	北陸支店 山濃圏トンネル作業所
2	鈴木 誠厚	SACテック㈱	土木機械部
3	前野 瑞基	西村谷組	名古屋支店 前野第2トンネル作業所
4	林 秀晃	東フジタ	土木本部 土木エンジニアリングセンター 機械部
5	山口 大高	新建設院㈱	札幌支店 ニッ森トンネル（現設）作業所
6	村上 真行	前田建設工業㈱	機電部

2

- ▶ ・ 魅力
- ▶ ・ 伝達方法
- ▶ ・ ピックアップ

3

【魅力とは】

- ・ 給料の良さ（メーカーと比べ）
- ・ スケールの大きいモノづくり
- ・ 普段触れることのできない**大型機械**
- ・ ICT機器に携わることができる。
- ・ 大学で研究していたことの**応用**ができる
- ・ 社会インフラを支える**“やりがい”**（人々の生活にかかせない）
- ・ チームで一つのものを作り上げる**感動**（多職種・多人数）
- ・ **グローバル**にも活躍できる（国内外）

4

【伝達方法】

1. リアルな現場の魅力を伝える
～現場見学、体験会の実施
実際の工事現場や完成した建物の撮影を奨励することで、「こんなスケールの大きい仕事に携われるんだ」と実感させる。
～VRやドローン映像の活用
高層ビルやインフラ工事のスケール感を、自宅からある程度で伝える。

2. キャリアパスと将来性の提示
～機電の需要としてのキャリアパス（現場～設備～メンテナンスなど）をわかりやすく提示する。
～資格取得やスキルアップを奨励できることをアピール。

3. 先輩技術者との交流イベント
～若手技術者が登壇するトークイベントや座談会を開催。
・「現場って大変じゃないの？」という学生の疑問に対して、リアルな声で答えてもらう。

5

【伝達方法】 2

4. SNSや情報ツールでの発信

5. 文系・理系問わず参加できる体験プログラム
～簡単な図面作成や夜間体験、3Dモデルを使ったシミュレーション体験などを通して、「思ったより面白いかも」と思わせる。

6. 機電協会から大きく「機電職員」について発信してもらう
～各部署に機電の役割を任せろのではなく、協会から機電職員についての認知や地位をしてももらう。

7. 残業時間の低減化を伝える
～過去に比べて生産性が向上し、残業時間が少なくなってきている。月40時間以内。

6

SNSや情報ツールの活用

使用媒体

- ・TIKTOK ・インスタグラム ・X (ツイッター)

による情報発信。

- ・働く魅力や意義
→短編動画にして発信する。
- ・インフルエンサーとコラボ
→学生ユーザーに魅力を伝える。
- ・CMや短編映画
→会社情報や特長情報を知ってもらう。(JCM/DCM等)

7

5班-1

第25回機電技術者意見交換会

テーマ
「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」

成果発表
【第5班】

令和7年10月9日(木)～10日(金)
場所：機械振興会館
主催：(一社)日本建設機械施工協会 建設業部会

1

第5班 討議メンバー

No.	氏名	所属会社	所属部署
1	渡田 英樹	東急建設機	技術研究所 ロボティクスグループ
2	山崎 大樹	新竹中工務店	西日本機材センター
3	松野 千穂	株式会社 藤大林組	東日本ロボティクスセンター 運営管理部
4	近藤 貴希	前田建設工業㈱	東京建設支店 南池袋2丁目再開発作業所
5	武久 伸俊	大塚建設機	建設本部建設機城部
6	後藤 健太郎	新竹中工務店	東日本機材センター

2

目次

1. 背景
2. 課題
3. 対応策
4. まとめ

3

背景(就職先企業を選ぶ際に重視する点)

キヤリアス就活参考
マッチしているのになぜ、？

4

背景(志望業界別)

理系ランキングでも建築系の会社がない

5

背景(就職活動量)

理系学生の就活活動量について機械・電気系の就職率に注目すると
企業を絞って就活活動をする学生が多い中でも機械電気系は特に少ない

6

5 班-2

ゼネコン機電職採用課題

1. 就活軸の変化
2. 機電系の学生からの認知度が低い
3. 業界全体に根付くイメージ

7

1. 就活軸の変化

リモート需要がある、福利厚生が使えない
 転職したくない、ITやコンサルが魅力
 責任のある仕事に苦手意識、出世欲がない
 人との関わりが好きでない

解決策

- 「現実をしっかりと隠さず伝えること」**
- 給与面や4週8閉所などの働き方改革について
 - 具体的な働き方制度説明(福利厚生の質上げ等)

いろんなことに挑戦できる、現場内に見る範囲が大きい

8

2. 機電系の学生からの認知度が低い

背景でも述べた通り
 機電系の学生はそもそもゼネコン機電職を知らない

解決策

- SNS、メディア活用(TikTok、インスタ、Youtube)
- 就活関係のイベント(他部署と協力)
- 協会からCM、メディア発信
- 技術開発の推進
- 推薦枠を付ける
- 機械、電気系学部以外の学部へ呼び込む



9

3. 業界全体に根付くイメージ

実際の仕事イメージがしにくい。
 仮設だから建築と違い残らない、開発何している

解決策

- 長期インターンの活用
- 例)若手社員に付いていく、実習を行う、TC計画など

長期インターン

1日目	2日目~4日目	5日目
ゼネコン機電職の紹介	稼働中の現場のクレーン設置計画(機械) 電気設備計画(電気)	実際の現場に行って 答え合わせ

職種体験のよう

10

まとめ

1. 就活軸の変化
→現実をしっかりと伝えることで入社前後のギャップをなくす
2. 機電系の学生からの認知度が低い
→SNSの活用や、就活イベントへの積極的な参加
2. 業界全体に根付くイメージ
→長期インターンの活用

11

ご清聴ありがとうございました

12

6班-1

第25回機電技術者意見交換会
 テーマ：「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」
成果発表
【第6班】
 令和7年10月9日（木）～10日（金）
 場所：機電技術者会館
 主催：（一社）日本建設機械施工協会 建設業の未来

1

第6班 討議メンバー

No.	氏名	所属会社	所属部署
1	戸野 輝大	東洋建設株	土木事業本部海外開発部
2	千嶋 悠平	東亜建設工業	土木本部 機電部(分室) 電気O、機
3	杉野 清司	大豊建設株	名古屋支店 田子の浦営業所兼所
4	栗田 草斗	東洋建設株	土木事業本部機電部
5	安藤 謙也	五洋建設株	土木O&E本部管営O&E部
6	米田 莉子	五洋建設株	土木O&E本部M&E技術部

2

入社までのSTEP

足を運んでもらうきっかけ
 この時で私たちができることは?

3

認知度を上げるには?

マリコンを宣伝!

- マリコンクティブディ (釣り・デザインなど) でマリコンを宣伝
- アニメの依頼やCMなどのメディア露出

機械・電気マニアに興味を持ってもらう!

- 作業前など技術関係に関するものをYouTube等で見てもらう
- 現場見学

大学生に向けて

- 共同研究で学生の認知をあげる
- サークル活動などに定まって認知度を上げる
- 入社しての先輩から後輩へ発信する
- 露出は早上風力に興味がある学生も多い

4

足を運んでもらうきっかけ

学生と共同研究

- 水中ロボットの研究 (企業側はフィールドを買ったりする)
- そのまま入社してくれたら研究が引き継がれる

大学主催の企業説明会に参加

- 土木系学生ではなく機電関係の学生が集まりそうな説明会に参加する
- ゼネコンの機電に関する説明会があれば良い
- ドローンやRDV、VRゴーグルの体験会を開催する
- 学生と1対1の関係を作る

5

説明会・インターン参加

3Kを払拭!

- 今はこれを目指して頑張っています~を伝える。
- 機電職が3K改善業 (省人化) に関わっていることを伝える
- きつけれど、こういうことがよかったということも伝える
- 作業前の内装 (サウナや女性用化粧部、ゴルフコーナー) の基本的について伝える
- スタイリッシュな作業場
- フレックスなど自由な働き方にも移行中 (内勤・外勤に関わらず)
- 危険を回避するシステムの開発も進んでいることを伝える

6

説明会・インターン参加



積極性の伝え方を伝える！

- ・積極いじりが好きならには、その気持を話かせる仕事がある
と伝える
- ・自分に合う分野に進むことも伝える
- ・特等席の人がどう働いているか伝える

現場で働くメリットを伝える！

- ・マシコンでは作業服を使用するため、花火大会などの時に特等席で見れる
といった楽しいエピソードを伝える

転勤について

- ・転勤は辛いけど、業務行けないような状態で済めるとも伝える
- ・転勤があることもきちんと伝える（ギャップが生まれるのを防ぐため）
- ・本社勤務→転勤が戻れがあたりすること伝える
- ・転勤はあるけれども、会社への貢献が第一であることも伝える

3. シャッフル討議メモ

シャッフル討議-1班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ (2日目)

作成日 令和7年 10月 10日

シャッフル班番号	1班	記録者	(株)熊谷組 梶野瑞基
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	浅田 祐樹 東急建設(株) 技術研究所 ロボティクスグループ 今藤 基希 (株)佐藤工業 北陸支店 山清路トンネル作業所 山添 大樹 (株)竹中工務店 西日本機材センター 鈴木 誠淳 SMCテック(株) 土木機械部 小柳 裕 鹿島建設(株) メカトロニクス・ソリューション部 梶野 瑞基 (株)熊谷組 名古屋支店 熊野第2トンネル作業所		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p><議 事></p> <p>◆各々の活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山添 社内システム (文書校正、フローチャート生成、技術標準仕様の対話型検索システム)、構造計算 ・小柳 社内システム (対話型システムのデータベースアクセス、パワポ出力。)、CADデータの出力 ・浅田 社内システム (対話型システムのデータベースアクセス、論文の翻訳要約。) ・鈴木 notebooklm : pdf、音声データ等を解析して要約、秘匿性の高い情報を要約。 ・K 本部長AIを生成し、事前に対策。 ・梶野 社内システム : 対話型システムのデータベースアクセス、コード生成。 <p>◆生成AIメリットデメリット</p> <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力結果の信ぴょう性があるのか。 ・AIに慣れてしまうとAI頼りになる(考える力、覚える気が失われる)。 ・セキュリティに問題がある可能性。 <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手間が省ける。作業の効率化(大まかな情報で検索できる、資料作成等)。 ・教育ツールになる(わからないことを聞いて答えてくれる)。 ・反復作業に利用できる。 <p>◆生成AIとどう付き合っていくか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力結果だけでなく出力過程も出力する。 ・メインツールとしてではなく、補助的ツールとして使用する。 ・会社内で使用する場合、年次で機能制限をかける。 			

シャッフル討議-2班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ（2日目）

作成日 2025年 10月 10日

シャッフル班番号	2班	記録者	大野 晃生
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	田中 翔悟 (株)NIPPO 総合技術部 機械統括グループ 大野 晃生 三井住友建設(株) 土木本部 機電部 早川 勇斗 鉄建建設(株) 東京支店 工事第4グループ 東日本橋駅作業所 河野 健太郎 東洋建設(株) 土木事業本部海洋開発部 林 秀晃 (株)フジタ 土木本部 土木エンジニアリングセンター 機械部 新美 佳祐 (株)安藤・間 土木事業本部 機電部プロジェクト支援グループ		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p><議 事></p> <p>現状の活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社内チャットボット • 文書作成時の要約作業。言語変換。 • 施工計画の案出し。、作業手順の確認。 • 施工説明用資料作成（画像生成） • excelデータ整理、関数の提案等 <p>今後の展望（あったらいいな）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工事写真を撮影したら、自動で振分け（工種毎）、タグ付け • 凶面自動生成、変更作業、音声入力。 • 現場写真・映像を認識して、危険個所の予測・警告。 • 定点測定の自動化（フィジカルAI?） • 天候の予測システム • 分電盤のIoT化（自動点検作業、電圧、電流値、電気容量の管理）。 • 現場で使えるAI技術を考えてくれる生成AI。 • 過去の事故事例を動画化して作業員に説明。 • リアルタイム音声警告（危険な状況を認識して、文章化、音声化） （例えば重機と人間の接近等） • 資材ヤードの効率的な配置案の提案（作業工程を考慮して出戻りにならないように） <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生成データの信ぴょう性。例えば構造計算をさせた場合に正しいかどうかの判断ができない。使用者のスキル低下にもつながる。 • 著作権、肖像権等の法的問題。 • 社内情報の漏洩リスク。 • ハルシネーションのリスク 			

シャッフル討議-3班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ（2日目）

作成日 2025 年 10月 10 日

シャッフル班番号	3班	記録者	佐藤 大輔
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	大倉 聖 世紀東急工業(株) 機材・購買部 機材センター 中島 勇気 (株)フジタ 土木本部 土木EC 機械部 前田 将良 世紀東急工業(株) 名古屋支店 名古屋営業所 干場 悠平 東亜建設工業(株) 土木本部 機電部（分室） 電気Gr. 宮出 堯幸 飛島建設(株) 月隈シールド作業所 佐藤 大輔 西松建設(株) 機材部国際資機材調達課		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p>〈議 事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIのこんな活用ができれば作業が楽になる <p>数量管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材数量計算などに活用していく <p>資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント資料作成 ・工事の説明資料を素材を渡して作成してもらう ・打合せ簿の作成、朝礼で使用する資料を使って朝礼を自動で進めてもらう。 ・現場 危険予知、計画書をAIに作成させ、業務の時間短縮。 ・作業員に指示する図面などを作成 <p>判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮の流れの判断で業務の可否判断、人間の判断ではなくAIに判断してもらう ・浚渫作業、土砂性状に応じた洗浄作業を生成AIに判断させて作業性にムラがないようにする。 ・会社のデータをAIに読み込ませてデータベース化する <p>資材手配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打ち終わり、チャットで作業終了通知。翌日の配車を自動的に行う。 <p>現場トラブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械のトラブル発生時に原因・発生場所を教えてくれる <p>イメージアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画作成（会社紹介、現場紹介など） <p>→YOUTUBE上でショートホラー映画が流行。架空の女優が登場する。</p> <p>受付対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話形式、会議室の空き状況を教えてくれる ・来客対応 - 画像認識でどこの企業なのか、だれなのか判断して対応 <p>生成AIが使用しづらい理由・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIに出す指示の出し方が難しい（画像生成：色、物体の配置など自分が思うような画像になる） ・AI製作会社が基本的に海外のため、日本語よりも英語のほうが指示を理解しやすい ・生成AIの活用の仕方がわからない。使用例を知りたい。 ・機密情報の取り扱い、情報漏洩を恐れて使用をするのが怖い。 ・生成AIの学習データ学習が足りない。例.人間の腕が3本の画像が生成される。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材数量計算や図面作成、危険予知・計画書など現場業務の効率化に生成AIを活用。 ・工事説明資料や打合せ簿、朝礼資料などの自動作成で事務作業を軽減。 ・潮流や土砂性状の判断、会社データのAI分析による業務判断の精度向上。 ・動画制作や受付対応など、社内外のコミュニケーションやイメージアップにも応用可能。 ・指示の難しさ、言語の壁、情報漏洩の懸念、学習精度不足など導入に課題あり。 ・班員で出し合った意見をもとに生成AIにまとめさせた。 			

シャッフル討議-4班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ（2日目）

作成日 2025年 10月 10日

シャッフル班番号	4班	記録者	鈴木慎太郎
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	松野 千映 (株)大林組 東日本ロボティクスセンター 運営管理部 砂押 浩司 大豊建設(株) 名古屋支店 田子の浦浚渫作業所 山口 大吉 鉄建建設(株) 札幌支店 ニツ森トンネル(明治)作業所 濱田 菜月 東洋建設(株) 土木事業本部機械部 近藤 勇希 前田建設工業(株) 東京建築支店 南池袋2丁目再開発作業所 富部 悠太 (株)奥村組 東日本支社 機電部 機械技術課 鈴木 慎太郎 (株)熊谷組 北海道支店 創成川シールド作業所		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p><議 事> AI使用者 4名(5名) 松 開発のプログラミング、メールの添削、議事録作成で使用 災害事例のピックアップに使用 濱 メールの記事作成補助 簡単な英会話の会話アプリ(chatGPTと連携) 鈴 文章系の補助に有能 旅行の行程や金額の比較に適用 砂 架空のお店が出てきて活用しづらい箇所もある 山 自社製のchatは情報制限等で使いづらい→Copilot、chatGPT、Geminiばかり使用している 砂 社内規定などを参照するときに活用。そのほか文章作成、海外業者とのやり取り、マクロコー →効果を実感できる 山 生成AIのアプローチの仕方がわからない 富 使い方がわからない→勉強に手が回らない 近 調べもの程度 砂 生成AIの使い方説明会を社内で行ったこともある →まだ一部の人しか興味を持たない、必要な人が使っている 松 使う人がいれば周りの人も使い始めているイメージ 会議等の行き詰った時にアイデアを出させている →実際に反映させたりすることもある。 鈴 調べものレベルで止まっている 富 (昨日の実習で) ppt生成までできたのは驚き 鈴 構造計算などで使用すると確認がネック 富 材料検収などに活用できたらいい 鈴 搬出研修の時に活用できたらいい 砂 自己PRの時の朝礼時に活用していた例は魅力的だった 今後の活用として作業中断などの判断もしてくれないか 濱 雷などの作業中止判断もAIにしてほしい 近 高所低所で状況が変わるときも含めて判断できるようになれば 鈴 トラブルシューティング的な使い方をできないか 松 取説を取り込ませて現場でも閲覧できるようにしてみるのはいかがでしょうか 松 日報とかの日常的かつ多方面での情報の収集を可能にできれば活用して行ける 富 社内的な規制はあるのか？ →規則としてはあまりないが、使用可能なものが決まっている 富 どこまで生成AIにデータを入れ込むのか 松 機密性の高いものまで扱えれば業務のサポートになる 砂 配置計画のサポートもできるとありがたい 鈴 届け出関係の書類作成サポートに活用していければ 濱 office系やCAD図は出力できるのか？ →できるものもある。 山 設備の解体順序の効率化を図りたいときに活用できればありがたい 砂 回答を求めていくより壁打ち相手程度に扱っていく運用がいい気がする 近 検査工程をAI付きのロボットで行えれば省力化につながる可能性もある 濱 物価本などのデータを取り込ませて見積比較などしたい</p>			

シャッフル討議-5班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ (2日目)

作成日 2025年 10月 10日

シャッフル班番号	5班	記録者	五洋建設 安藤
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	坂井 新 大成建設(株) 外環大泉トンネル作業所 吉田 千智 西松建設(株) 機材部機電課 井上 海椰 (株)大林組 本社ロボティクス生産本部 企画管理部企画課 林 亮太郎 大林道路(株) 機械部機械センター 工藤 優樹 鹿島道路(株) 技術開発本部機械部開発設計課 安藤 達也 五洋建設(株) 土木M&E本部 船舶O&M部 米田 莉子 五洋建設(株) 土木M&E本部 M&E 技術部		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p>〈議 事〉 活用事例 【主な使用媒体】 Gemini Box AI notebookLM copilot AI議事録 (teams) ナレッジ動画 (direct内限定機能) 各社独自の生成AI</p> <p>【活用事例】 会議の音声や動画を録音して議事録作成。 NotebookLMやBoxAIに関連資料をまとめて資料検索および内容確認。 インターン生向けのマイページやアンケートに誘導するQRコードやチラシの作成。 大まかなイメージを伝えて船名等の名前の案だし。 作成した資料やメールの内容添削。 発表資料で使用する画像生成。 Excelマクロ、プログラムコードを生成し業務効率化。 ナレッジ動画で動画をアップロードし字幕生成や内容の要約。 朝礼での省人化のため、入力した言葉を音声出力してくれる生成AIを用いた現場朝礼の実施。 生成AIで画像学習をさせて以下のようなシステムを作成。 →エレベータ内での人や資機材の占有率の自動判定システム。 →濁水度の検査システム。 →ウインチのワイヤー破断検査および乱巻き等危険時のアラーム発報システム。 →コンクリートのひび割れ判定システム。</p>			

シャッフル討議-6班

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル班メモ (2日目)

作成日 年 月 日

シャッフル 班番号	6班	記録者	
打合日	2025.10.10	場 所	機械振興会館
出席者	武久 裕俊 大成建設(株) 建築本部建築機械部 井上 真行 前田建設工業(株) 機電部 後藤 健太郎 (株)竹中工務店 東日本機材センター 松尾 政為 東亜建設工業(株) 土木本部 機電部 機械Gr 加賀山 智 鹿島建設(株) 北陸支店 胎内川ダム洪水吐増設JV工事事務所 宮崎 蓮 (株)鴻池組 東京本店 東日本おトコセンター		
テーマ	「生成AIの活用事例」		
<p>〈議 事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • CopilotとチャットGPTは配布 • 社内データを聞いたら答えてくれるAIがある • 社内にあるデータの中から、いろいろ引っ張ってきて作業手順書を作成してくれる • 歩掛やサイクルを入力すると工程表を作成してくれる • 現場が終了した段階で、データや資料を保管する文化がある(2~3年前から) • タワークレーンの月例点検を、ドローンとAIを連携させて写真を自動で撮影してくれたりといっ をデモンストレーションで活用した • 会議を録画したものをAI解析で文字起こし、要約をしている • タワークレーンのクライミング報告書をAIで自動で作成した • AIを教育して、自分に最適なAIになってくれる • 生成AIに対して、役割を明確にした指示文を与えてあげると、回答の視点が絞れる • 各生成AIの特徴を把握して用途ごとに使い分けるとよい <p>〈今後の希望〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施工計画や工程を現場の写真を入れるだけである程度のもので作成してくれる • AIを導入した人型ロボットが危険作業を行ってくれる • 作業員さんが使用できるようなAIシステムや、AI導入口ロボットができると職員の負担が減る 			

4. アンケート集計結果

開催日： 2025年10月 9日（木）・10日（金）

主催者： 一般社団法人 日本建設機械施工協会

開催場所： 一般財団法人 機械振興協会 機械振興会館

テーマ： 『建設業のイメージアップ戦略 ～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～』

参加人数： 38名

講演①： 『フィジカル AI アシスタントの社会実装』

講師： (株)ポケットクエリーズ 代表取締役 佐々木 宣彦 様

講演②： 『センスを磨け！』

講師： 大成建設(株) 建築本部建築機械部企画開発室チームリーダー 久松 栄一 様

(1) 全体集計

第25回機電技術者意見交換会 アンケート R7年10月9日・10日

会社名：

氏名：

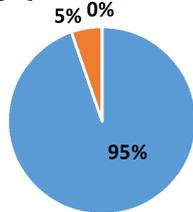
該当網掛け ■内に○を入れてください ※は回答必須

1. テーマ、進め方、発表方法について メイン討議 「建設業のイメージアップ戦略～機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」 シャッフル討議「生成AIの活用事例」					次回討議したいテーマは？ ・ その他・意見	
※	(1) テーマに関して	適当・良かった	まあまあであった	不満・改善を要する	※ 次回討議したい テーマ	
※	(2) 進め方に関して	適当・良かった	まあまあであった	不満・改善を要する		
※	(4) 他の班・パナ・変更による交流について(シャッフル討議)	現行より時間を延長すべき	現行時間が適当である	討議内容が浅くなるので、現行より時間を短縮すべき		
2. 参加者、場所、期間について					参加に当たって生じた調整事項 ・ その他・意見	
※	(1) 参加者に関して	適当・良かった	まあまあであった	不満・改善を要する	※ あなたが参加するにあたって業務上支障になったことはありませんか その他 自由意見	
※	(2) 場所に関して	適当・良かった	まあまあであった	不満・改善を要する		
※	(3) 期間に関して	内容充実を図り、3日間とすべき	現行のまま(2日)が適当	一日にしてほしい		
※	(4) 集合時刻に関して	9:00集合が望ましい(前回までの時間)	10:30集合(前回・今回設定の時間)	13:00集合が望ましい		
※	(5) 曜日にに関して	木・金曜日が望ましい	月・火曜日が望ましい	いつでも良い		
※	(6) 時期に関して	あなたの考える開催時期を記入してください	月			
	遠方現場からの参加について	現行通り該当者のみの宿泊手配が良い	協会での宿泊先一括手配希望	全員宿泊必須の行程希望		
3. 参加して					左記評価を選択した理由 ・ その他・意見	
※	(1) 感想	有意義であった	まあまあであった	不満・改善を要する		
※	(2) この会の参加前後で、業務への取組意識は変化しましたか	大いに变化した	実感はないが、どこか変わった。	まったく変わらない		
※	(3) この会で得たことを社内で展開しますか	したい	するつもりはない	できない		
4. 講演会について					その他・意見、今後の講演の希望等	
※	(1) 感想・希望等	有意義であった	まあまあであった	不満・改善を要する		
※	(2) 講演数に関して	2講演(以上)が聞きたい	1講演で十分であった	講演はなくても良い		
※	(3) 講演時間に関して(45分1講演)	長すぎる(希望時間を記載)	適当な時間であった	短すぎる(希望時間を記載)		
					その他・意見	
※	どのように活用できると思いますか	人脈活用	情報交換	個々のレベルアップ		
6. その他意見						
※						
◆	10年後の自分へのメッセージ (回答任意)					

(2) テーマ、進め方、発表方法について

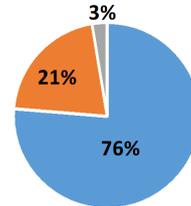
(1) テーマに関して	適当・良かった	36	まあまあであった	2	不満・改善を要する	0
(2) 進め方に関して	適当・良かった	29	まあまあであった	8	不満・改善を要する	1
(3) シャッフル討論	現行より時間を延長すべき	6	現行時間が適当である	28	討議内容が浅くなるので、現行より時間を短縮すべき	4

(1) テーマに関して



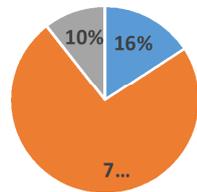
■ 適当・良かった ■ まあまあであった ■ 不満・改善を要する

(2) 進め方に関して



■ 適当・良かった ■ まあまあであった ■ 不満・改善を要する

(3) 他の班・メンバー変更による交流について(シャッフル討論)



■ 現行より時間を延長すべき
■ 現行時間が適当である
■ 討議内容が浅くなるので、現行より時間を短縮すべき

次回討議したいテーマ

- ・機電技術者の離職率の削減
- ・AIの発達や自動化が進んだ10年後の機電職の姿
- ・取り入れたいライフワークバランス
- ・建設機械の自動化について
- ・大手中堅ゼネコンとの採用差を埋めるには
- ・若手機電技術者の現場や会社での立ち位置や重要性について
- ・それぞれの職種でどのような事業を行なっているか
- ・働き方改革と人材不足について
- ・業務を行う中で工夫したこと、悩んでいること
- ・同じテーマ
- ・技術開発の出口戦略について
- ・機電職の開発業務について
- ・機電職員の配置について
- ・機電系社員のセカンドキャリア
- ・建設機械の自律化にあたっての障壁
- ・工種ごとの踏み込んだ話
- ・技術開発ではなくどういったことが大変だとかこんな動画を買えば楽になったといった明日からすぐ使えるようなテーマ
- ・省人化について
- ・機電系にしか出来ない仕事、誇れる仕事
- ・現状の機械職の働き方とこれからの働き方(現状維持なのか、改善すべき点があるのか)
- ・最新技術をどのように使いこなすか
- ・建設機械のEV化について
- ・建設業の省人化及び次世代の育成方法について
- ・ICT・DXの現場導入促進について
- ・機電技術(暗黙知)の電子化

次回討議したいテーマ

- ・建設業で働く中で、機電職で良かったと思うこと。不満を感じること
- ・無人化施工について
- ・各社の機電技術者のキャリアパス、若手技術者への教育方法
- ・業種別の講義形式で技術力に関して講義してみたい
- ・技術力を高めていくにはどのような取り組みや指導を行なって若者や、部署内、会社全体の水平展開を行なっているのか討論してみたい
- ・建設業とテレワークの親和性
- ・AIの発展による人手不足低減策
- ・デジタル技術の実用例
- ・生成AI
- ・働き方改革を進める上で有効な取組み案

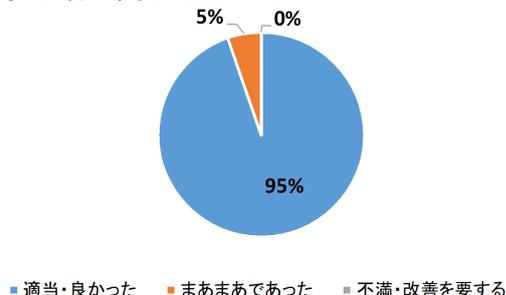
その他の自由意見

- ・シャッフル討議についても発表の場があれば良いと思った
- ・時間のメリハリ
- ・お昼ご飯を食べながら、自己紹介やディスカッションは難しいと感じました
- ・こういう若手機電職同士で集まれるイベントが増えるといいなと思いました
- ・シャッフル討議の時間が長かった
- ・同じ職種、世代の方と多く意見交換・交流ができて、非常に有意義で楽しい時間となった
- ・各社機械職の具体的な働き方をもっと深く知りたいと感じたため
- ・社内でもよく議題にあがるテーマでしたので、各社さんのお話が聞けてかなり勉強になりました
特に学生さん獲得は社内において活用していきたいです
- ・他社の機電職と交流ができ刺激を感じた
- ・土木だけでなく、建築や海洋の人とも交流ができ良かった
- ・当日の討論はとても刺激的でした 新しい視点を得られてよかったです ありがとうございます

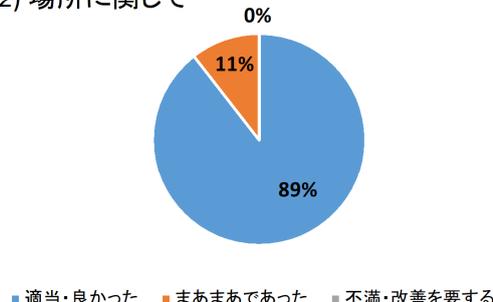
(3) 参加者, 場所, 期間について

(1) 参加者に関して	適当・良かった	36	まあまあであった	2	不満・改善を要する	0
(2) 場所に関して	適当・良かった	34	まあまあであった	4	不満・改善を要する	0
(3) 期間に関して	内容充実を図り3日間とすべき	6	現行のまま2日間が妥当	29	1日が適当	3
(4) 集合時間に関して	9:00集合が望ましい	6	10:30集合(今回)	30	13:00集合が望ましい	2
(5) 曜日に関して	木・金曜日が望ましい	32	月・火曜日が望ましい	0	いつでも良い	6
(6) 遠方現場から参加者の宿泊について	現行通り該当者のみの各手配が良い	25	協会での一括手配希望	7	全員宿泊必須の行程復活希望	6

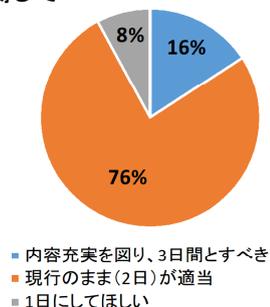
(1) 参加者に関して



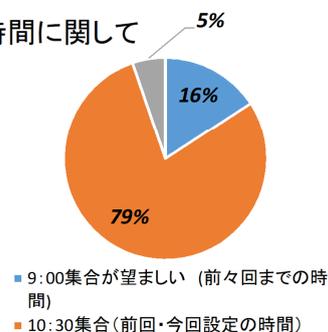
(2) 場所に関して



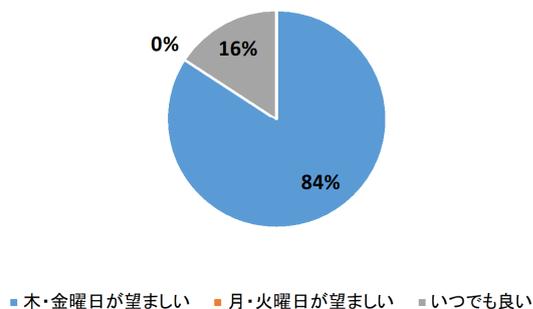
(3) 期間に関して



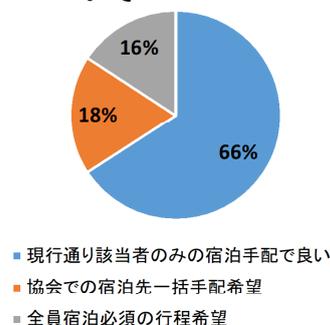
(4) 集合時間に関して



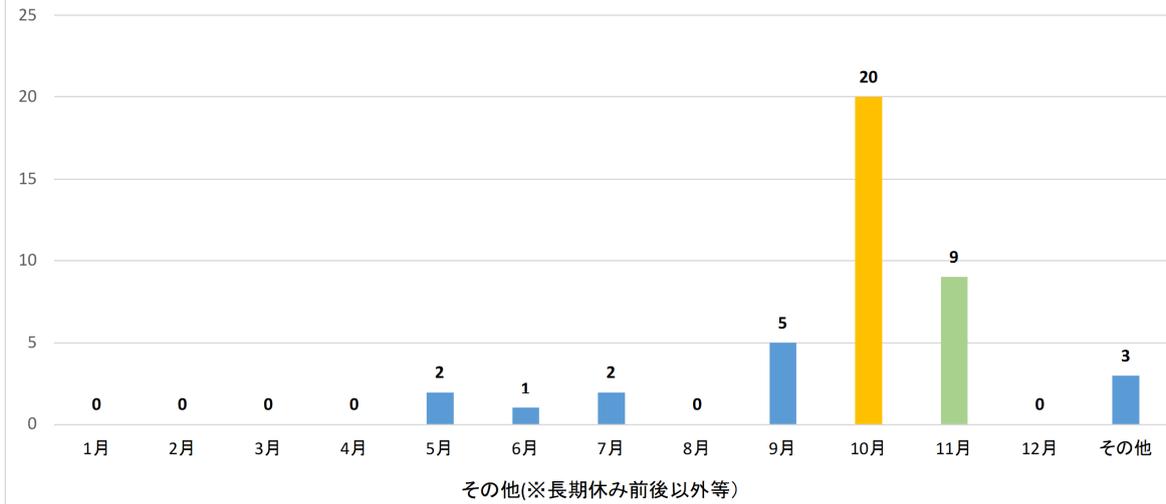
(5) 曜日に関して



(6) 遠方現場から参加者の宿泊について



(7) 時期に関して



参加するに当たって業務上支障になったこと

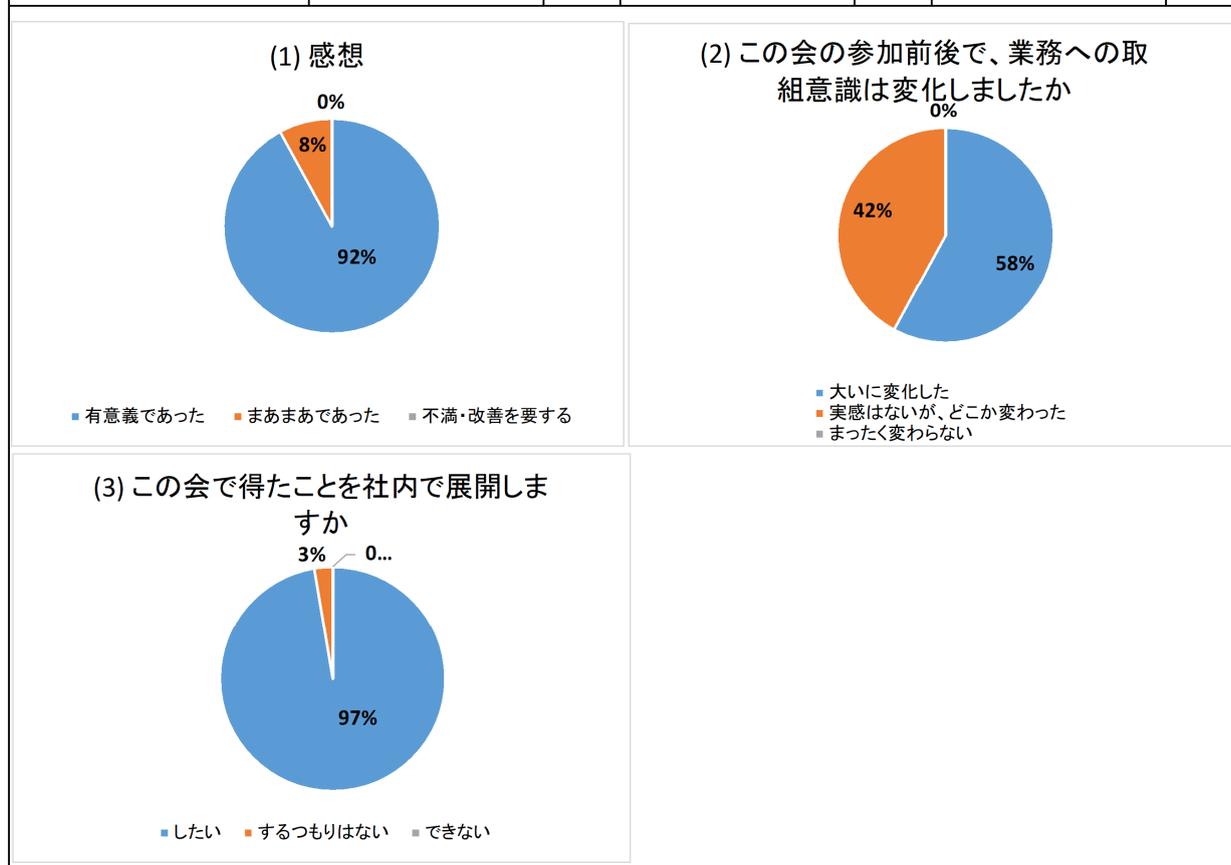
- ・開催日は決算期を外してほしい
- ・課題の期限をもう少し長くしてほしい
- ・休憩時間が少なく、メール電話対応が難しかった
- ・協力ができないと断りを入れる必要があった
- ・担当中の仕事が拘束時間分遅れることになり、支障になり得る場合もある
- ・異動のタイミングと重なり少し業務が立て込んだ
- ・現場の計画業務が参加期間中止まってしまう
- ・協力業者に検討を依頼してから参加すれば回避可能であった
- ・10月頭であったため、内定式後の手続き、会社説明などと被っていた

その他の自由意見

- ・昼食時間にも議論、議事録をとっていると落ち着いて食事ができないのが少し気になりました
- ・コロナ前の同一宿に宿泊、その宿での懇親会は魅力的だと思いました
- ・機電中堅社員の対象で後輩指導についてどのような教育や指導、取り組みを実施しているのか機電系の同業他社での討論もしてみたいと感じました。

(4) 参加しての感想

(1) 感想	有意義であった	35	まあまあであった	3	不満・改善を要する	0
(2) この会の参加前後で業務への取組意識は変化しましたか	大いに变化した	22	実感はないがどこか変わった	16	まったく変わらない	0
(3) この会で得たことを社内で展開しますか	したい	37	するつもりはない	1	できない	0



評価を選択した理由・その他・意見

- ・建設業の機電技術者がどう展開しているかわかったから
- ・他社の知見を得られた
- ・既成AIの話はとても有意義だった。持ち帰って業務に取り入れたい
- ・普段接することのない方との交流ができ、大変刺激になった
- ・競合他社の情報や課題を知れた
- ・スーパーゼネコンさんなど、規模感の違う意見も聞けたのは良かった
- ・スーパーゼネコンさんにも引けをとらない部分も確認できて良かった
- ・生成AIの活用方法を自分の中で身につけた上で、社内展開したいと思ってます
- ・AIの扱い方が参考になりました
- ・今後の機電職のイメージアップに繋がれるのではないかと思います
- ・各社の採用方法など、参考になったので、展開を図りたいと思います
- ・他社の方が進んでいる技術や参考にするべき点が多くあったため
- ・リクルートに従事してないので、魅力を伝える場がない
- ・自分より年下の世代を指導する時、同業他社にも優秀な人材はたくさんいるので、日々の努力を怠ると一気に劣勢になると伝えたいと思った。
- ・とくに学生の獲得に関しては人事部とともに苦労しているところなので各班の意見を展開し、採用できそうな項目に関しては進めていきたい
- ・会社の利益になる情報だと考えているため
- ・今回の題材は、今の機電系が直面する最大の課題であり、様々な会社の方が考える色々な策を知れたので、是非展開をして会社の採用活動のブラッシュアップに活かしたい

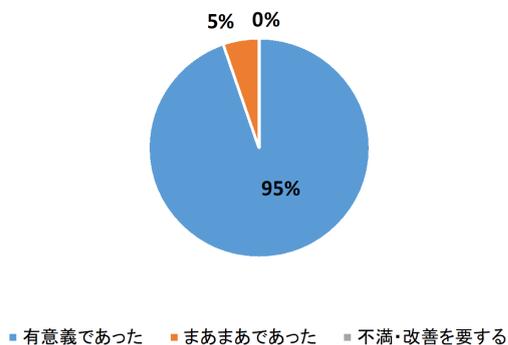
評価を選択した理由・その他・意見

- ・社内には無い取り組みが、各社から聞けた 社内的ではなくても、個人レベルで可能な取り組みもあった
- ・AIの利活用について如何に自分自身が遅れているかを気付かされた
- ・自社でも、AI活用について研修や学習する機会を設けるべきだと感じた
- ・採用に関しては、難航していることを社内で耳にするものの特段これといった対策をしているようには見えないため、何かのきっかけで変革が起こってくれることを期待して内容を社内展開したい
- ・前田建設では生成AIなどの活用があまり進んでない印象があったため今回他の参加者の話を聞くと機電の方から使用事例を増やして社内に展開していきたいと考えたため
- ・リクルート活動には関与していないので、その点での社内展開は考えておりません
- ・生成AIに関しては、他社と比べて使えていない現状が確認でき、他社の取組みに惹かれたため
- ・同世代の機電屋さんと話す機会が今までなく、刺激を受けたため
- ・色々な意見を聞けたのは良かったが、実行出来る立場ではないため、活用法が難しい
- ・同世代の各社さんの意見をかわせたのはかなり刺激的で勉強になりました
- ・会を通しての気づきがとにかく多かったので、討議も講義も社内でも共有できたらと思います
- ・他社の取組み等を知る上で必要だと考えるから
- ・各社のAIの利用状況、当社でも参考となる部分が多くありました
- ・社内の勤務体制など
- ・初めて他社の機電職員と接する中で、各社の強みや機電職員としての方向性が違うと感じたため、弊社の強みとは何かを明確にしてアピールしたいため 採用状況が他社に比べて劣っているので、なんとか改善したいため
- ・実際に現状行っている仕事に直結することができたため、出てきた意見を反映させて仕事をおこなっています
- ・同業種の方たちとの話は非常に貴重であり、今後の業務意欲向上にもつながった
- ・他社の機電職と交流する機会はないため
- ・当日の議論で得られた知見やアイデアを共有することで、部門全体の技術力向上につながると思うからです
- ・同業他社がどの様な取り組みをしているのか気になっていましたが、この会で取組方の視野が広まった感じがしました
- ・他社の職員との業務内容の乖離が大きく、弊社で生かせる場面に限られるため
- ・他社では生成AIの利活用が驚くほど進んでいたため、当社でも生成AIの利活用をもっと発展させたいと思いました
- ・他企業の業務改善に向けた取組みを知ることができたため
- ・意見交換会を開催頂きありがとうございます。他社のリクルート活動や生成AIへの取組を知ることができ、有意義な時間を過ごせました

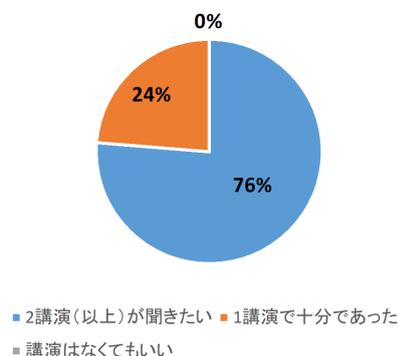
(5) 講演会について

(1) 感想・希望など	有意義であった	36	まあまあであった	2	不満・改善を要する	0
(2) 講演数に関して	2講演(以上)が聞きたい	29	1講演で十分であった	9	講演はなくてもいい	0
(3) 講演時間に関して	長すぎる	3	適当な時間であった	35	短すぎる	0

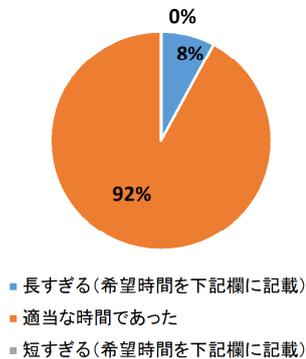
(1) 感想・希望等



(2) 講演数に関して



(3)-1 講演時間に関して(45分1講演)



その他・意見、今後の講演の希望など

- ・最先端の技術
- ・シリコンバレーで行われている世界最先端技術の紹介など

(6) 今回の意見交換会から得たもの、その他

その他・意見

(1)人脈活用について

・学生が抱えている不安事項を取り除く為に過去にやってきた内容を洗い直して社内で議論し、実際に学生と触れ合う時に不安にさせないようにすること

・横の繋がりを大切にしたい

・JV工事など

・仕事以外のプライベートな相談等

・横のつながりができたので、今後の集まりで活用したい。また、邪険ではあるがこの縁で、中途の採用活動にもつなげたい

・歳の近い、他者の機電技術者との接点が出てよかった

・同じ現場になればその時に顔見知りが増えて活用できると思います

・今後関わりがあるかと思うので人脈拡大できてよかった

・共同開発などで繋がるかもしれないのでよい

・業界として厳しい時代を迎えたときお互いに少しでも助け合える関係になればと思う

・今後の機電業務(特に開発)面で相談して、いいものを作れる機会があれば活用したい

・AIの活用方法、取組や、リクルート活動での協力、情報交換

・機械故障時の機械貸し借り等での活用が考えられる

・一部の方の顔と名前を覚えられたので、困った際は、同じ工種の方に相談ができそう

・デジタル技術や自動化が進展する建設業界において、機電職員の人材確保は喫緊の課題であることで今般、大手・競合他社の採用活動に関する貴重な情報交換の機会を得られたことは、大変有意義であり、今後の人材戦略に向けて示唆に富む内容でした

・世代が上の方たちは会が多くあると思うが、若い世代のみの交流の場は少ないのでとても貴重だと思う。JVや今後の他社さんとのWGなどで一緒にできたら嬉しいです

・他社社員とここまで仲良くなることはほとんど無いので貴重な機会でした

・もっと、グループはよりシャッフルした方がいいと思います

・他社建設業だけでなく国交相とも繋がれるのはありがたい

・同年代の他社職員と交流することで、同様な環境にいる人と人脈が出来れば会社の垣根を超えた相談相手になる

・これからの機電技術者の発展の為に会社を超えて協力するきっかけができました

・他社の年が近い機電職員と知り合えたので、現場などの作業員さんとのコミュニケーションに活かしていきます

(2)情報交換について

・情報を社内で共有し、今後新しい取り組みを行うこと

・同工種でまた集まれたらいいと思う

・AI生成等聞いたこともないようなことを聞けてためになった

・他者のやり方を真似できるので、詳しいところまで聞ける機会があつて良かった

・機電技術者の可能性が見れて良かった！多工種での活躍状況がしれた！

・他社の業務内容を知れて、自社との違いを知ることができた

・業務、リクルート活動においての現状をシェアすることができた

・メールや電話情報を交換した方、近い現場の方とは積極的に繋がっていきたい

・国交相の若手の方と話した際に率直にさまざまな意見を交換することができた。機械として政策への取り組みを考える機会になった

・普段なかなか得られない情報が多く、特に採用、リクルート活動には是非活かしたい

・個人業務への活用。社内への水平展開、活用

・情報交換内容はテーマを軸としたものとなる為、今回のような各社の情報を聴きやすいテーマが適切に感じました

・各社カラーがある中で、自社にはなかった発想が得られる

・実際に業務でどのようなソフトを使い、またそれをどのように現場に活かしているか聞くことができた。初めて知ったソフトに関して、有効に使えるものについては使用を検討したい

・同業他社が何をしているかを話した上で、上司に意見を出し、新たなことに挑戦できそう

・同じ建設業といえど考え方や得意工種、体制等が異なるので、とても勉強になることはばかりでした。この会をきっかけに色々なことを学べたらと思います

・生成AI活用術や他社機電職の組織形態、リクルート活動等に関する情報を活用できると思います

・自社のコミュニティだけに属すると知識の偏り、バイアスが生まれてくるので、他社との接触によって多様な価値観を学べると思います

・機密事項もあるとは思いますが、建設業・機電職であるが故の悩みや苦悩、どのように改善する予定か情報交換できる

情報交換がきっかけで、会社間の共同開発もあり得るのでは無いか

・機電ならではの悩みや他社の取り組みを聞くことで知見が広がる

・業種が違えど活用できる情報が取得出来て将来の機電系の技術や仕事の楽しさが伝える事が出来ると思います

・周囲の機電技術者のレベルの高さに圧倒された

その他・意見

(3) 個々のレベルアップについて

- ・学生への良い見所の伝え方や生成AIの活用を自身で取り組む
- ・聞いた内容を社内に持っていく
- ・大手のやり方を学べた
- ・色々な考え方があって、視野を広げる良い機会でした
- ・他社さんの機電職から刺激をもらい、レベルアップに繋がりたいと思った
- ・他社との会話でモチベーションが上がったので、今後活かしたい
- ・様々な新たな知見を身につけることができたし、普段ない多くの刺激をいただけたことは非常によかった
- ・同じ機電系社員でも分野の違う人たちと絡んで刺激になった
- ・最低限の知識はみなさん持ち合わせていたので、より深い理解・知識を習得しないと一歩抜きん出ることではできないと思った
- ・様々な現場を経験し、違う立場に成長した際にもう一度同じメンバーで集まって話がしたいと感じた
- ・機電業務に対して誇り高く、やりがいを持って取り組まれている姿をすぐにも刺激に変えて頑張りたい
- ・個人レベルでのAI活用事例の共有が個々のレベルアップに直結する
- ・周りの方々が自分よりも高いレベルで仕事をされている事を痛感しました
- ・機械職として情熱と誇りを持ちつつ、ステップアップを意識して業務に挑みます
- ・普段やってる自分の業務の枠にとらわれず他社さんではこんなことをやってるからやってみようという意欲が湧いた
- ・遥かに高いレベルを知ることができ、非常に刺激になった。ツールを使いこなすなどのスキルアップを図り、業務の効率化を進めていきたい
- ・人それぞれ考え方が違う上で、違う方向の考え方を見つけることができた
- ・今回の会だけでも、普段使用しない生成AIを使用したりと簡単なことからですがレベルアップしたように思います
- ・同世代の機電職員の考えや働き方、個人的なスキルアップなど刺激となる部分が多く、個人のレベルアップ、意識の変化に活用できると思います
- ・各個人、様々な資格・スキルを刺激になりました。各社どのような資格に注力しているか、データ化しても面白いと思います
- ・同年代の働きを知ることで、いい刺激になるとともに他社の考え方に触れるきっかけともなるので視野が広がる
- ・個々のレベルアップというより各会社のリクルート活動内容や姿勢など知れたのはいいことだった
- ・これをきっかけに他社に転職等もあるのではと思う
- ・今後の現場管理において、より円滑に工事が進むよう計画を立てていきたい
- ・主に開発業務で参考になることが多く、今後のアイデアにいい刺激がもらえると嬉しいです
- ・知見が広がったので他社の素晴らしい取り組みを自身でも参考に取り入れてレベルアップを図りたいと思う

(4) その他意見

- ・休憩の時間が適宜欲しかったです
- ・誰かの発表時間等にお手洗いで抜けてしまう方がいて、聞きたい内容も聞けないかと思いました
- ・また参加したい。が、後輩たちが次に繋げられるように託して、他社に負けられないような意見を出せる後輩を育てていきたい
- ・また若手機電職のメンバーでイベントがあれば参加したい
- ・発表資料の作成がやりにくかったため、画面共有のためのモニターを提供してくれる会場だと嬉しいなと思いました
- ・成果物として発表するには少し時間が少ないと感じた
- ・発表書式や内容を少し縛ってもらえるとより深い内容や意見が出てくると感じた
- ・初日の自己紹介兼昼食の時間は少し長く感じた。初日の自己紹介は、各班内に留め、夜の懇親会の場で自己紹介をしても良いのではないかと、また、持ち時間1人2分としても良いと思う
- ・建設会社の機電系はどちらかというと土木が強いイメージのため建築に関わる人だけの回があってもいいのでは無いかと考えてます
- ・懇親会もグループを作り、ローテーションをし、全員と話せる機会にした方がいいと思います
- ・主に班内で意見交換を行うため、情報交換に偏りを感じる
- ・2日間通してありがとうございました。とても有意義な時間を過ごせました。とても考えさせられる2日間となりました。AIを使用することであっても、AIに使われてはならないなど、考えることを止めてはならないなど改めて感じました
- ・今後も若手育成の活動の一つとして、本意見交換会が続いてほしいとともに、別途、中堅世代の意見交換会も開催されるといいと思いました。また、この度は有意義な会に参加させて頂き、ありがとうございました
- ・昼休憩と作業は分けた方がいいと思います。自己紹介が長すぎると感じました
- ・自己紹介の所で、長い人もいたため時間をしっかりと決めていただきたかと思いました
- ・他社の機電の方と話す機会は今までなかったため、とてもいい機会になった。機電ならではの悩みなど共有出来て、とても有意義な時間を過ごすことができた
- ・各組織中で少数の存在である機電職員が多数集合し、多くの意見を聞くことのできた非常に有意義で貴重な時間であった
- ・国土交通省の若手とも話せてとても有意義な会でした
- ・欲を言うと募集要項通りの人員で意見交換をした方がより刺激をもらえると嬉しいです
- ・生成AIについて、もう少し具体的なテーマを作ったり、ワークをしたりする方が良いと思いました

(7) 10年後の自分へのメッセージ

10年後の自分へのメッセージ

- ・過去を思い出して初心に戻ってやり直せ！笑
 - ・現場の最前線で活躍していきたい
 - ・技術の進歩は早いので、今回のAIの分野などは数年で可能になっていると思う。置いていかれないように、勉強・会社を発展していきたい
 - ・今回の議題ででた技術が実際に活躍していることを確認し、その時の新しい技術等も吸収してほしい
 - ・AIは普及しましたでしょうか？上手く扱えているでしょうか？楽しく働けていることを願います
 - ・この2日間得られたことを活かして、レベルアップし続けて欲しい
 - ・元気に頑張ってますか？
 - ・スーパーゼネコンに負けない技術者になれ！
 - ・スキルを磨け！
 - ・自身の采配で粗利の確保ができて会社に貢献できる人間になってください
 - ・やりたいことができるようになって今以上に楽しく仕事ができていると嬉しい
 - ・機電職中堅になった、今のあなたにはどんな世界が見えていますか？
 - ・スキルは磨かれているか？自己研鑽を忘れないで。人脈は宝
 - ・未だこの業界で生き残っていますか？家族を持つ事は出来ましたか？沢山の方々との繋がりは大切にしていますか？
- 情熱を持って仕事に挑む姿勢と楽しむことは忘れないで下さい。僕はこれから理想とする10年後の自分に向かって邁進します！
- ・建設業界を引っ張れるような存在を目指してください
 - ・常に高みを見て、道を拓いてください
 - ・考えることをやめずに、何事にも取り組んでください
 - ・今よりさらに深く機電職の魅力を語れる人材になれるように日々精進します
 - ・今日の経験を活かして業務に励み、自己研鑽を積んでいきたい
 - ・今は1つの現場の施工計画で手一杯な状態であるが、10年後は数現場をまとめて見られるような機電技術者になって欲しい
-
- ・素直な姿勢で、地に足つけて地道に努力してください
 - ・時代に対応した機電社員になる
 - ・健康第一で挑戦できる社会人でいて欲しいです

5. 資料

(1) 意見交換会実施要領およびスケジュール

1) 意見交換会実施要領

令和7年7月14日

建設業部会員 各位

(一社)日本建設機械施工協会
建設業部会 部会長 坂下 誠



第25回 機電技術者意見交換会および講演会のお知らせ (参加者選定のお願い)

標記意見交換会および講演会を下記の要領により開催致します。

コロナ禍で休止となっておりました期間(2020年から2023年)に機電職の新入社員となった若手の参画を優先したいと考えております。

今年度も参加者枠を最大で40名までとし、1社につき2名までお申し込みを受け付けたいと思います。(定員の関係から後日調整をさせていただく事もございます)

ご多忙の折とは存じますが、参加者の選出等準備を進めて頂きますようご案内申し上げます。なお、グループ会社職員も参加可能です。

申運用紙を含めた正式な開催通知は後日あらためてお送りさせていただきます。

記

1) 開催趣旨等

- 趣 旨 : ・機電技術者の交流・育成の場を回り、魅力や課題を共有発信する
・建設業各社機電部門の活性化の一助とする
・機電技術者の地位向上の一施策として役立てる

開催日 : 10月9日(木)～10月10日(金)

討 議 : メイン討議テーマ「(仮)建設業のイメージアップ戦略～
機電技術者の魅力を学生に伝える方法～」
シャッフル討議テーマ「生成AIの活用事例」

場 所 : 機械振興会館

参加費 : 19,000円/1人(予定)

今年度から、参加者申込を頂いた方の所属企業宛てに後日請求書をお送りさせていただきますので、参加費は開催日より前にお振込みいただくよう変更させていただきます。

※参加費は食事代(2日間の昼食、初日の懇親会)を含みます。

尚、2024年度から、機械振興会館での開催に代わり、宿泊を中止いたしましたので、宿泊が必要な方は各自でご手配願います。

2) 講演会 10/10(金) (各60min予定)

第1講演

演 題 : (仮題)「フィジカルAIアシスタントの社会実装」

講 師 : 髙橋ポケット・クエリーズ 調整中

第2講演

演 題 : (仮題)「レジェンド機電職員の講演」

講 師 : 大成建設㈱ 建築本部 建築機械部 企画開発室 チームリーダー
久松栄一 様

3) 意見交換会参加者の選出基準(原則)

機電技術者(年齢20代～30代前後)

- 4) 参加者の自己アピールシート（詳細は、後日お送りいたします）
 参加者には、自己アピールシートを作成して、当日発表して頂きます。
 意見交換会のオリエンテーション後に、この自己アピールシートを使用して自己紹介をして貰います。
- 5) その他
 CPDSプログラム認定講習会です。
- 6) 過去実績（第1回から第24回まで成果品有）
<https://jcmamet.or.jp/bukai-iinkai/kensetsugyou-bukai/>
 「機電技術者意見交換会」タブ下

JCOMA 一般社団法人 日本建設機械施工協会

協会について | 協会活動 | 部会・委員会 | 建設機械施工管理技術検定 | 建設技能実

建設業部会

最新 | 部会編成 | 年度スケジュール | 分科会等活動報告 | **機電技術者意見交換会** | 月次活動報告

1. 概 要

機電技術者意見交換会は、

- 1) 情報活動の場として機能させる（「人づくり」、「場づくり」）
- 2) 建設業各社機電部門の活性化の一助とする
- 3) 機電技術者の地位向上の一施策として役立てる

等を目的として、当部会会員各社の入社して10年前後の機電技術者を対象としている。

2. 実 績
 (2020年からコロナ禍で休止中 ▶web講演会代替企画を実施▶第24回から復活)

	開催年月日	開催場所	参加者数	討議テーマ
第24回	2024/10/10,11	横浜国際会館	39名	・「機電業としての2024年の現状とその解決法」 ・第24回機電技術者意見交換会報告書
第23回	2019/10/10,11	国立オリンピック記念青少年総合センター	23名	・「機電技術者はAIとどう付き合っていくべきか」 ・第23回機電技術者意見交換会報告書

2) スケジュール

2025年 第25回機電技術者意見交換会スケジュール表

第一日(9日 木曜日)	部屋	備考	時刻	第二日(10日 金曜日)	部屋	備考
			8:00			
				8:30～事務局・業者設営		
			9:00	8:45～意見交換会参加者集合		
				9:00～11:40 2.5h+		
			10:00	講演 基調講演 9:00～10:00 「フィジカルAIアシスタントの社会実装」 樹井ケット・クエリーズ 代表取締役 佐々木富彦 氏	B3 研修-1号室	レイアウト変更 ②
10:00～事務局・WG受付開始				10:00～10:15質疑応答		
10:30～11:00 30min 参加者受付(受付)				10:15～10:25休憩		
11:00～11:30 30min オリエンテーション (趣旨説明、班編成等)			11:00	基調講演 10:25～11:25 「センス多摩け！」 大成建設 建築本部 建築粉砕部 企画開発 室 栗一 氏 チームリーダー 久松		
11:30～14:00 2.50h 昼食 兼 参加者自己紹介			12:00	11:25～11:40質疑応答		
(自己PRシートを使用して) 3分/人×40名=120分	B3研修-1号室	6班島レイアウト ①	13:00	12:00～13:30 昼食兼 シヤッフール討議 (案)「生成AIの活用事例」	B3研修-2号室	6班島レイアウト ③
14:00～16:30			14:00	13:30～14:30 グループ討議(工種別班ver1) 発表物取り纏め		
グループ討議(工種別班ver1) 建設業のイメージアップ戦略～機電技 術者の魅力を学生に伝える方法～			15:00	14:30～17:00 約3.0h グループ討議発表(工種別班ver1) (案)建設業のイメージアップ戦略～機電技 術者の魅力を学生に伝える方法～ グループ内コミュニケーション	B3研修-1号室	6班島+親分聴 講 レイアウト ④
初日撤収作業			16:00			
			17:00	16:30～17:00 全体討議、講評 事務連絡(アンケート、成果等)		
17:00～ 2h予定 <懇親会> 5F倶楽部1(50名) 国交省若手も合流 参加者より乾杯 ※参加者のコメント等 司会:鈴木副幹事長	5F倶楽部1	うすい ケータリング	18:00			
			19:00			

(2) 参加者名簿

1) 基本班

第25回機電技術者意見交換会 基本班（発表）職種別（Ver.1）

No	班	○○ ○○		年齢	勤続年数	平均年齢	工 種
		氏 名	所 属				
		○○ ○○	リーダー				
		○○ ○○	書 記				
1	1	小柳 祐	福島建設㈱ メカトロニクス・ソリューション部	32	8	27	土木全般
2		早川 貴典	鉄建建設㈱ 東京支店 工事第4グループ 東日本橋梁作業所	31	9		
3		中島 勇気	湘フジタ 土木本部 土木EC 機械部	30	7		
4		井上 海都	湘大林組 本社ロボティクス生産本部 企画管理部企画課	26	4		
5		松尾 政為	東豊建設工業㈱ 土木本部 機電部 機械Gr	25	4		
6		加賀山 梨	福島建設㈱ 北陸支店 船内川ダム洪水社建設/工事事務所	24	3		
7		宮崎 蓮	湘建建設 東京本店 東日本(北)支店	24	6		
8	2	田中 翔悟	湘NIPP0 総合技術部 機械統括グループ	32	6	29	道 路
9		大野 晃生	三井住友建設㈱ 土木本部 機電部	32	8		
10		大倉 聖	世紀東急工業㈱ 機材・購買部 機材センター	30	12		
11		前田 均良	世紀東急工業㈱ 名古屋支店 名古屋営業所	29	10		
12		林 亮太郎	大成建設㈱ 機械部機械センター	26	1		
13	工藤 俊樹	東豊建設㈱ 技術開発本部機械部開発設計課	26	4			
14	3	新美 佳祐	湘安藤・関 土木事業本部 機電部プロジェクト支援グループ	30	8	28	シールド
15		宮出 光幸	福島建設㈱ 月隈シールド作業所	29	6		
16		佐藤 大輔	西松建設㈱ 機材部設備資機材調達課	29	5		
17		富部 悠太	湘奥村組 東日本支社 機電部 機械技術課	27	2		
18		鈴木 慎太郎	湘野谷組 北海道支店 副成川シールド作業所	27	4		
19		植井 新	大成建設㈱ 外環大泉トンネル作業所	27	3		
20	吉田 千智	西松建設㈱ 機材部機電課	27	4			
21	4	今藤 基希	湘住協工業 北陸支店 山清路トンネル作業所	33	9	31	トンネル
22		鈴木 誠洋	SMCテック㈱ 土木機械部	33	10		
23		梶野 瑛基	湘野谷組 名古屋支店 南野第2トンネル作業所	32	5		
24		林 秀晃	湘フジタ 土木本部 土木エンジニアリングセンター 機械部	31	6		
25		山口 大高	鉄建建設㈱ 札幌支店 ニッ森トンネル（明治）作業所	28	5		
26		井上 真行	前豊建設工業㈱ 機電部	26	4		
27	5	浅田 純樹	東豊建設㈱ 技術研究所 ロボティクスグループ	38	9	29	建 築
28		山崎 大樹	湘竹中工務店 西日本機材センター	33	15		
29		松野 千映	湘大林組 東日本ロボティクスセンター 運営管理部	28	3		
30		近藤 勇希	前豊建設工業㈱ 鎌倉鎌倉支店 鹿池2丁日再開発作業所	26	2		
31		武久 裕律	大成建設㈱ 建築本部建築機械部	26	3		
32		後藤 健太郎	湘竹中工務店 東日本機材センター	25	3		
33	6	河野 健太郎	東洋建設㈱ 土木事業本部海洋開発部	31	7	28	海洋土木
34		平塚 悠平	東豊建設工業㈱ 土木本部 機電部（分室） 電気Gr.	29	5		
35		砂押 浩司	大豊建設㈱ 名古屋支店 田子の浜開発作業所	28	4		
36		渡田 泉月	東洋建設㈱ 土木事業本部機械部	28	5		
37		安藤 達也	五洋建設㈱ 土木M&E 本部M&E 技術部	26	5		
38		米田 莉子	五洋建設㈱ 土木M&E 本部M&E 技術部	26	4		

2) シャッフル討議

第25回機電技術者意見交換会 シャッフル討議

		○○ ○○	リーダー							
		○○ ○○	書記							
No	班	氏名	所属	年齢	勤続年数	平均年齢	職種	Ver.1班		
1	1	浅田 伸樹	東京建設部 技術研究所 ロボティクスグループ	36	9	33	建築・技術開発	5		
2		今浦 昌希	西佐藤工業 社説支店 山崎路トンネル作業所	33	9		トンネルシールド	4		
3		山添 大樹	練竹中工務店 西日本機材センター	33	15		建築・技術開発	5		
4		鈴木 誠淳	SRDテック部 土木機材部	33	10		機 架	4		
5		小栗 裕	鹿島建設部 メカトロニクス・ソリューション部	32	8		機架・技術開発	1		
4		成野 尚基	神隆谷組 名古屋支店 飯野第2トンネル作業所	32	5		土木全般 トンネル	4		
7	2	日中 翔悟	株MIPPO 総合技術部 機械設備グループ	32	6	31	道 路	2		
8		大野 晃生	三井住友建設部 土木本務 機電部	32	8		機 架	2		
9		早川 勇斗	鉄建建設部 東京支店 工事第4グループ 東日本増設作業所	31	9		シールド 土木全般	1		
10		河野 健太郎	東洋建設部 土木事業本務海浜開発部	31	7		海洋土木 シールド・トンネル	6		
11		林 秀亮	株フジタ 土木本務 土木エンジニアリングセンター 機械部	31	6		シールド・トンネル 技術開発	4		
12		新美 佳祐	神安通・貿 土木事業本務 機電部プロジェクト支援グループ	30	8		シールド	3		
13	3	大倉 聖	世紀東急工業部 機材・機電部 機材センター	30	12	29	道 路	2		
14		中島 真気	株フジタ 土木本務 土木EG 機械部	30	7		シールド 技術開発	1		
15		前田 将良	世紀東急工業部 名古屋支店 名古屋営業所	29	10		トンネル 道 路	2		
16		千塚 悠平	東洋建設工業部 土木本務 機電部(分室) 電気部	29	5		海洋土木	6		
17		宮出 貴幸	鹿島建設部 月経シールド作業所	29	6		シールド	3		
18		佐藤 大福	西松建設部 機材部国際資機材調達課	29	5		シールド	3		
19	4	松野 千映	株大林組 東日本ロボティクスセンター 運営管理部	28	3	28	技術開発	5		
20		砂野 清司	大建建設部 名古屋支店 田子の浦渡洋作業所	28	4		土木全般 シールド	6		
21		山口 大吉	鉄建建設部 札幌支店 ニッ森トンネル(明治) 作業所	28	5		トンネル	4		
22		瀧田 翠月	東洋建設部 土木事業本務機械部	28	5		海洋土木	6		
23		近藤 善希	前田建設工業部 東京建築支店 南池袋2丁目再開発作業所	28	2		建 築	5		
24		高部 悠太	株高村組 東日本支社 機電部 機械技術課	27	2		シールド	3		
25		鈴木 慎太郎	神隆谷組 北海道支店 創成川シールド作業所	27	4		シールド	3		
26		堀井 新	大成建設部 外環大塚トンネル作業所	27	3		シールド	3		
27	5	吉田 千智	西松建設部 機材部機電課	27	4	26	シールド	3		
28		井上 海都	株大林組 本社ロボティクス生産本部 企画管理部企画課	26	4		技術開発	1		
29		林 英大樹	大林建設部 機械部機械センター	26	1		道 路	2		
30		工藤 安樹	鹿島建設部 技術開発本務機械部開発設計課	26	4		道 路	2		
31		安藤 達也	五洋建設部 土木R&E 本部WE 技術部	26	5		海洋土木	6		
32		米田 秋子	五洋建設部 土木R&E 本部WE 技術部	26	4		海洋土木	6		
33		宮久 紗夜	大成建設部 建築本部建築機械部	26	3		建 築	5		
34	6	井上 真行	前田建設工業部 機電部	26	4	25	シールド トンネル	4		
35		後藤 健太郎	練竹中工務店 東日本機材センター	25	3		建築・技術開発	5		
36		松尾 航志	東洋建設工業部 土木本務 機電部 機械部	25	4		土木全般 技術開発	1		
37		加賀山 智	鹿島建設部 北陸支店 鈴内川ダム洪水社増設/工事事務所	24	3		機架・土木全般 技術開発	1		
38		宮崎 遼	株浅田組 東京本店 東日本(株)センター	24	6		土木全般	1		

(3) 実施状況写真

1) 副幹事長挨拶



2) 自己紹介



3) グループ討議 (基本班)



1班



2班



3班



4班



5班



6班

4) 懇親会





5) 講演会





6) シャッフル討議



7) 成果発表



1班



2班



3班



4班



5班



6班

8) 部会長挨拶



仕事の魅力、どう伝える？

機電技術者が意見交換

日本建設機械施工協会（JCM）A、金井道夫会長）は9日から2日間、若手の機電技術者同士が交流する「機電技術者意見交換会」を開催している。会員企業に所属する若手技術者が東京都港区の協会本部（機械振興会館）に集結。

JCMA

仕事のやりがい、魅力のPRについて意見を交わした。

建設業部会機電交流企画委員会の企画で、今回で25回目。会員企業25社から38人が参加した。「建設業のイメージアップ戦略」をテーマに、機電技術者の仕事の魅力、次世代を担う学生へのPR方法を話し合った。

参加者の年齢層は、20代中盤から30代中盤。「学生の頃は「機電」と言われても、仕事をイメージできなかった」「入社前後では結構なギャップがあった」など、さくくは



年齢の近い技術者同士、自然と笑顔がこぼれる



「息が楽なかと心配していたが、無事に開催できてよかった」と話す篠宮委員長

らんな意見が飛び交った。

「現場監督というイメージが強いが、本当は最先端領域の専門職だ。学生の印象を変えていかないといけない」といった意見もあった。

AI（人工知能）を使っていきますか……。テーマは、今話題の生成AI活用にも及んだ。「化粧品探しには使っているけど、仕事では……」といったライトユーザーから、議事録・安全法令を学習させて「チャット形式で引き出せるようにしている」との上級者まで、使い方は十人十色の模様。「将来的には、先輩の工事計画を学習させ、新規案件の課題を指摘してもらいたい」といった声も聞かれた。

会を運営する篠宮政幸委員長によると、イベントの目的は「若手技術者の交流・育成の場づくり」とのこと。「現場が人手不足に四苦八苦する中、業界のイメージアップを通じた人材確保は必須だ。2日間、活発に交流し、意見を交わしてほしい」と期待を寄せた。

